

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名取委員委員 員 委 員 称	茅野市博物館協議会		
開 催 日 時	平成 27 年 6 月 26 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時		
開 催 場 所	八ヶ岳総合博物館 講堂		
出 席 者	沖野外輝夫委員長 宮澤志郎副委員長 小口隆秀委員 根橋良紀委員 島立幸男委員 伊藤美恵委員 小平一次委員 大勝弘子委員 吉川正子委員 牛山英彦教育長 木川亮一生涯学習部長 守矢昌文文化財課長兼尖石考古館長 若宮崇令八ヶ岳総合博物館長 田村健神長官守矢史料館長 小林健治八ヶ岳総合博物館係長 柳川英司八ヶ岳総合博物館古文書担当 小池岳史尖石縄文考古館考古館係長		
欠 席 者	関塚正嗣委員 名取陽委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍 聴 者 の 数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
<p>沖野委員長 守矢尖石縄文考古館長（以下、考古館長） 沖野委員長 島立委員 考古館長</p>	<p>1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員の委嘱 4 委員の自己紹介 5 職員の自己紹介 6 茅野市博物館協議会設置条例について 7 協議事項</p> <p>① 正副委員長の選任 互選で沖野外輝夫委員長、宮澤志郎副委員長が選任された。</p> <p>② 各館平成 27 年度の事業計画について それでは各館平成 27 年度の事業計画について説明してください。 （尖石縄文考古館資料について守矢尖石縄文考古館長が説明）</p> <p>今の説明について何か質問、ご意見はあるか 入館者の増加について教育長より話があったが、仮面の女神が国宝に指定されたということで、茅野駅からの来館者には道案内は出ているだろうが、麦草峠等、山を越えて来る人への道案内は出ていない。また、駅を降りても国宝があるよという PR があまり目につかない。もっと PR を。縄文プロジェクトが進められているが、各館の連携が見えない。コンコースや市民館でこんな素晴らしいものがあるということを PR することも考えたらどうか。PR する場所を連携を取りながら検討し、もっと PR を。 茅野駅、諏訪インターなど、西から東へのルートについては案内を出している。麦草峠の方から来られる人については今後考えていきたい。電話での対応については丁寧に行っている。館の連携についてはミュージアム活性化事業を通して行っているところである。</p>		

沖野委員長 根橋委員	ほかに、いかがか。 現在、縄文の文化について研究されていると思うが、縄文人はどこから来たのか、DNA を分析した結果などから縄文をもっと掘り下げていくと面白いと思う。
沖野委員長 考古館長	何かそれに対して意見はあるか。 それは明治時代からの縄文についての永遠の研究テーマであるが、そのようなことも視野に入れつつやっていきたい。
沖野委員長 小平委員	直接関係している小平委員は何か意見はあるか。 島立委員が言われたことは客からよく言われることだ。案内板ということもあるが、高齢化で運転できない人が増えてきている。茅野の知人に車を出してもらってくる人を結構見かける。また、バスの本数が少なく、来館するには交通の便が悪い。また、旅館に泊まって国宝を見に来た人が、旅館の人に尖石の博物館へはどうやって行けばよいかを聞いても、わからない、タクシーの運転手に聞いてくれと言われた。滝の湯のように協力的なところもあるが、観光協会などと連携してもっと集客するようにしたほうがよい。
沖野委員長 宮澤副委員長	観光協会との連携、参考にさせていただきたい。 学校支援ということも話に出たが学校側から見るとどうなのか。 校長会で宣伝していただいたことを現場におろし、学校で活用させていただいている。学芸員さんに学校や野外に来ていただいたり、博物館に行くと縄文検定をやらせていただいたりしている。そのことを通して子どもたちが茅野市以外の友達などに茅野市について語れるようになるのが一番良いと思っている。そのことが地元への愛着や誇りを強くすることにつながる。
島立委員	糸谷地区で子どもたちのホットステイをやっているが、雨天の時は野外活動は難しい。その時考古館へ行くが森のテーマを見せてくれている、これが非常に良い。ホットステイだよという無料で見せてくれる取組に感謝している。
沖野委員長	よろしければ次の総合博物館、八ヶ岳麓文芸館の報告に移らせていただく。
若宮八ヶ岳総合博物館長（以下、「博物館長」） 沖野委員長 小口委員	（八ヶ岳総合博物館、八ヶ岳麓文芸館資料について若宮総合博物館長が説明） 質問、意見があればお願いします。 以前に聞いた時よりいろいろな講座が多くなっているのがすごいと思った。特に市民が身近な材料を使って手作りの教材を作っているのが素晴らしい。我々も学校でできるだけ身近なもので教材を作るように努力している。子ども科学クラブ、子ども実験工作クラブ、わくわく実験工作などで市民が子どもたちに指導している。参加募集は年間通じて行う子どもと、その都度募集して行う子どものようだが、それぞれ苦労があると思う。その辺のことを聞きたい。また、市民研究員養成講座の様子を知りたいと思った。
博物館長	年間を通じて参加する子供については、対象の4年生以上に1枚ずついきわたるよう募集のチラシを学校にお願いして年度の始まる前に配布しても

	<p>らっている。その都度募集は広報茅野で広報している。その都度募集のわくわく実験工作はロビーで実施する幼児でも参加できる 12 名定員の今年から始めた教室だ。始めたばかりでまだ周知されていないようだ。毎回募集のものは、魅力ある内容と広報をしっかりやらなくてはならない苦労がある。指導を担当する市民研究員は、理科大の木村先生に毎月 1 回指導を受けながら理論と実践記強い実験名人を目指している。きのこグループなどほかの市民研究員も毎月 1 回専門家の指導を受けながら勉強を深め、力をつけてもらっている。</p>
沖野委員長	根橋委員は実際に実験工作で子どもに指導しているようだが補足してください。
根橋委員	指導するとき、道具を子どもたちに使わせるが、怪我の無いように慎重に使うこと、ドライバーでねじ 1 つ締めるにしても法則とコツがある。ものづくりという要素に法則とコツがあることを知ってもらえるように心がけている。
沖野委員長	子どもの関係ということで伊藤委員、何かありますか。
伊藤委員	そういう現場にあまり関わらないのでよくわからないが、子どもたちが興味を持ってくれればいい。
沖野委員長 吉川委員	実際に博物館を使っている吉川委員、どうですか。 裂き織体験は大人の方がメインになっているが、学校の校外学習で来館する子どもに体験させることもある。子どもたちの興味の示し方は素晴らしいので、彼らを教えていると自分たちが興奮する。もっと裂き織体験を子どもたちに広げていけたほうがよい。
沖野委員長 大勝委員	大勝さん、どうですか。
沖野委員長	私は子ども相手でないのでわからない。でも子どもたちは興味を持つと集中的に取り組む。興味を持ってもらうということは大切だと思う。 理科教育のこともあるので、この課題について館の方でも考えていただきたいと思う。
田村神長官史料館 長（以下、史料館 長）	それでは次に神長官守矢史料館の方、お願いします。 (神長官守矢史料館資料について田村神長官史料館長が説明)
沖野委員長	質問はあるか。
史料館長	八ヶ岳総合博物館と共催で実施するものも多いかと思うが、来年は御柱ということで入館者も多くなるのか。
沖野委員長	御柱の年は年を越して多くなる。今年からたくさん来てもらおうと狙っている。
小林博物館係長	3 つの館の報告が終わったが、これでよろしいか。 では、次はその他となっているが事務局の方で説明してください。 3 点ある。
沖野委員長	① お手元に企画展のチラシを置いておいた。見ていただきたい。 ② 報酬と旅費の関係書類も置いてある。記入して出してもらいたい。 ③ 今後の予定としては、何も必要が生じなければ次回は年度末に事業報告を中心とした協議会を開催したい。
小林博物館係長	報酬と旅費の書類は今出すのか？印はなくてもよいのか。

沖野委員長	印はなくてもよいので、帰りに出していただきたい。 今日の協議はこれで終わりたい。事務局にお返しする。
木川生涯学習部長	8 閉会 (閉会あいさつ) ありがとうございました。いただいたご意見は今後の各館の運営に役立てていきたい。 ～午後3時00分終了～